

島根県水産振興審議会（平成30年度第1回）議事録要旨

■日 時 平成30年10月30日（火）10:00～15:30

■場 所 島根県職員会館健康教育室、島根県水産技術センター内水面科会議室、現地

■出席者

【委員】門脇委員、林委員、野津委員、小川委員、福丸委員、保永委員、園山委員、波田地委員、加藤委員

【事務局】鈴木農林水産部次長、三浦水産課長、安木水産しまね振興室長、川島漁港漁場整備課長、来間隠岐支庁水産局長、真井松江水産事務所長、横田浜田水産事務局長、中尾農林水産総務課管理監、外関係職員

■審議会の概要

1. 開 会

2. 農林水産部次長あいさつ 鈴木農林水産部次長

3. 会長あいさつ 保永会長

3. 出席者紹介（資料参考）

4. 議事

(1) 県東部地域における漁業の概要及び主要水産振興施策について

（説明：松江水産 伊藤課長）

- ・資料1に基づき説明を受けた。

(2) 出雲の豊かな湖・川づくりプロジェクトについて

①アカガイ(サルボウガイ)の効率的な養殖技術の開発・普及について

（説明：松江水産 渡邊主任普及員）

- ・資料4に基づき、養殖手法や実施状況、課題解決に向けての取り組みについて説明を受けた。

《質疑・応答》

◇資料では干拓予定地であった本庄工区の水域では、現在まったく養殖試験がなされていない。森山堤に潮通しが作られているが、その効果を測る意味合いで、本庄工区内で試験を実施されないのか。

◆水産技術センターにおいて、本庄工区の水域内でも養殖試験を行い、十分な養殖が行えるという結果は出ている。しかしながら、本庄工区内で試験されていないのは、通常、漁業者は住居から近い場所での試験を行うものであり、本庄地区から試験を

行おうとした漁業者がいなかったためである。

(3) 栽培漁業について（説明：水産しまね振興室 道根調整監）

・資料2に基づき説明を受けた。

(4) 藻場回復対策について（説明：漁港漁場整備課 寺嶋 GL）

・資料3に基づき説明を受けた。

(5) 出雲の豊かな湖・川づくりプロジェクトについて

②取組状況確認（現地調査）（説明：中海漁業協同組合 外谷組合長）

・アカガイ(サルボウガイ)の効率的な養殖試験に取組む「中海漁業協同組合」の作業現場において、養殖工程の説明を受けた後、各作業の見学を行った。



左：養殖試験工程等について説明を受ける様子 右：作業工程の見学の様子

(6) 出雲地域沿岸漁業活性化プロジェクトについて

①藻類養殖の推進、漁業経営の安定化について（説明：松江水産 原普及員）

・資料5に基づき、藻類養殖の推進状況や漁業経営の安定化に向けた取り組みについて説明を受けた。

《質疑・応答》

◇フリー法を導入している経営体は従来法も行っているのか。また今後、従来法からフリー法へ移行するということで理解してよろしいか。

◆平田地区では、2経営体がフリー法と従来法を実施しているなど、一部の経営体で実施されている。種苗を購入していた経営体の方が、種苗購入が安定しない状況を受け、来年度から2名の方が新たにフリー法に取り組む予定である。

◇フリー法は、聞く限り良いことづくめであるが、普及している数が少ないのではないか。内実があるのか。

◆養殖をしている経営体の中には、種苗を購入して養殖を行っている経営体も含まれており、種苗生産を行っている経営体だけではない。詳しい数字は持ち合わせていないので、後日回答したい。

②取組状況確認（現地調査）（説明：株式会社十六島大敷 樋野社長外）

- ・ワカメ養殖におけるワカメ種苗の生育状況や生産工程における生産施設の利用方法等の説明を受けた。



左：審議会の様子



右：加工施設内での養殖工程の説明

5. 閉会